

# 平成28年度 基本評価調書

施策名	豊かな人間性と社会性を育む教育の推進	所管部局	教育庁	作成責任者	教育部長 杉本 昭則	施策コード	11	09
		照会先	教育政策課教育計画G (内35-418)	関係課	義務教育課、参事(生徒指導・学校安全)、生涯学習課			

## Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

### 1 目標等の設定

総合計画等の位置づけ	総計	大項目(分野)	中項目(政策の柱)		小項目(政策の方向性)		総合計画の指標	
			人・地域	北海道の未来を拓く人材の育成		次代の社会を担う子ども・青少年が健全に育成される環境づくり		いじめに対する意識
	北海道創生総合戦略		A1421	北海道強靱化計画	-	新・北海道ビジョン	C06901,C06902	
	特定分野別計画等	北海道教育推進計画、北海道子どもの読書活動推進計画						
現状と課題	<p>いじめの問題や不登校等については、これまでも生徒指導・教育相談体制の確立や早期発見、早期対応に向けた取り組みを進めてきたが、依然として、いじめに苦しんだり、不登校となっている児童生徒が多数存在する状況にある。</p>			施策目標	<p>・未来を担う子どもたちが、健やかに成長できる環境づくりを進めるため、家庭・学校・地域社会・関係機関と連携し、いじめ・不登校の未然防止や事案に対応するための取組を推進する。                      ・子どもや青少年が健全に育成される社会の実現に向け、スマートフォンなどの急速な普及による過度なインターネット利用に起因する生活習慣の乱れや健康への影響などから青少年を守るための関係機関が連携した取組などを推進する。                      ・その他、子ども達の人を思いやる心や公共心、倫理観などの豊かな心を育む教育の充実を図る。</p>			
施策の推進体制 (役割・取組等)	<p>【いじめの問題等への対応】                      [道、市町村] 関係機関が連携した地域ぐるみの支援体制の整備・充実                      児童生徒や保護者への相談体制の充実                      有害情報から児童生徒を守る取組の推進、文部科学省委託事業「望ましいインターネット利用に向けた環境醸成推進事業」の実施、国立青少年教育振興機構委託事業「どさんこアウトメディアプロジェクト」の実施など</p>					施策の予算額		
						H27	351,685	
						H28	365,407	
H29	-							
今年度の主な取組	<p>道徳教育の充実、人権教育の充実、アイヌの人たちの歴史や文化等についての理解を深める学習の充実                      学校・家庭・地域における読書活動の推進、読書環境の整備・充実                      学校における多様な体験活動の推進、地域の特色を生かした活動の体験活動の推進                      生徒指導・教育相談の体制の充実、いじめ・不登校等への取組の充実、有害情報に対する指導の充実                      ネット利用も含めた望ましい生活習慣の定着                      学習指導要領に基づいた道徳教育の質の向上とその一層の充実を図るため、学校・地域の実情等に応じて主体的に行う道徳教育の取組に対し支援</p>							

# Do & Check 施策評価

## 1 - 2 取組の結果

(1) 主な取組の実績と成果		(関連する計画等)		
		実績と成果等	総合戦略	強靱化
<p>・スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを配置するほか、子どもや保護者からの相談対応、関係機関との連携等により問題解決につなげる支援を行うことを目的として子ども相談支援センターを設置し、教育相談体制の充実を図った。</p>		A1421	-	C06901、C06902
<p>・総合的な学習の時間の指導プログラムを活用した指導の普及を図るとともに、アイヌ教育相談員の配置及び相談員による講座を開催し、アイヌの人たちの歴史や文化等についての理解を深める学習の充実を図った。</p>		-	-	-
<p>・北海道日本ハムファイターズと連携した市町村立図書館における読書応援企画展を37館で実施し、家庭・地域・学校における読書活動の充実を図った。また、道立図書館において市町村立図書館や学校図書館の図書館職員を対象に研修を開催し(11回 231人参加)、市町村における子ども読書活動に対する支援を行った。</p>		-	-	-
<p>・体験活動を教育課程に適切に位置付けるための研修(教育課程改善(研究)協議会)を全道6ブロックで開催(参加者1,285名)するとともに、手引きを作成・配布し、学校における多様な活動の取組の推進の充実を図った。</p>		-	-	-
<p>・公立高校28校を指定し、予防的・開発的な視点に基づく生徒の人間関係形成能力やコミュニケーション能力の育成を図る取組の実践及び教員へ普及を図ることを目的とした「高校生ステップアップ・プログラム」を実施するほか、子どもが主体的にいじめ問題を考える機会の提供などにより、いじめ・不登校等の未然防止を図る取組の充実を図った。</p>		-	-	-
<p>・ネットパトロールの実施や「ネットコミュニケーション見守り活動」のリーフレット作成・配布また対応フロー図等も含めたガイドラインを提示し有害情報に対する指導の充実を図った。</p>		-	-	-
<p>・「どさん子アウトメディアプロジェクト」による、ネット利用も含む望ましい生活習慣の定着に向けた普及フォーラムを、15地域で開催、1,960名が参加し、子どもの望ましい生活習慣の重要性について意識を啓発することができた。</p>		-	-	-
<p>・道徳教育の質の向上を図るため、道徳教育推進教師を対象とした研修会を14管内で開催するとともに、道独自の道徳教材を全小・中学校へ配布した。</p>		-	-	-
<p>・人権教育の充実を図るため、指導者の技術の向上のための研修会を開催した。</p>		-	-	-
(2) その他の取組の成果等				
<p>国等提案・要望状況</p>	<p>・「スクールカウンセラー等活用事業」及び「スクールソーシャルワーカー活用事業」の補助率の引き上げや、教育支援センター(適応指導教室)の指導員の人件費などの設置・運営の財政的な支援を拡充する補助制度(委託事業も含む。)の創設や教員の派遣制度の確立による支援体制の強化について文部科学省に要望を行った(平成27年7月)                      ・「青少年インターネット環境整備法」によるフィルタリングサービスの提供義務の対象範囲の拡大などのインターネット利用に係る施策の推進について文部科学省に要望を行った。(平成27年7月)</p>	<p>施策に関する道民ニーズ</p>	<p>・保護者に配布しているネットトラブルの未然防止啓発資料について、児童生徒の発達段階に応じた内容への改善要望(平成28年4月22日開催の北海道いじめ問題審議会における審議会委員の意見)があり、要望を踏まえた改善を行っている。</p>	

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

Do & Check 施策評価

2 連携の状況

2 - 2 連携の取組状況

総合計画の位置付け	連携内容	連携先		取組の実績と成果
		施策コード	関係部・関係課	
-	「北海道いじめ問題対策連絡協議会」や「地域いじめ問題等対策連絡協議会」において、道、道教委、道警、児童相談所等の関係機関と連携し、いじめの防止等のための対策について協議を行っている。	N0213	総合政策部政策局参事	「北海道いじめ問題対策連絡協議会」や「地域いじめ問題等対策連絡協議会」を開催し、関係機関・団体と意見交換や情報共有を行い、各地域における関係機関・団体との連携強化を図った。
		N0311	環境生活部道民生活課	
		N0404	保健福祉部子ども子育て支援課	
		N2101	道警担当課	
-	青少年に対する違法薬物根絶に向けた広報啓発にかかる連携。	N2101	道警担当課	児童生徒を対象とした薬物乱用防止教室の開催に当たり、警察や保健所などの関係機関と連携し実施したことで、薬物乱用の有害性・危険性についての正しい知識や薬物乱用を拒絶する規範意識の向上について等、薬物乱用防止教育をより充実させることができた。

Plan 施策推進計画 (目標管理型行政運営システム実施要領 別紙様式1)

Do & Check 施策評価

3 成果指標の設定

3-2 成果指標の達成度合

主	主要指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	C	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか
		基準年度	H26	年 度	H28	最終年度	H29					
いじめに対する意識(小学校)		基準年度	H26	年 度	H28	最終年度	H29	達成度合	C	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか
		基準値	82.3	目標値	100	最終目標値	100	年度				
〔指標の説明〕 全国学力学習状況調査において「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」について、「当てはまる」と回答した児童・生徒の割合	根拠計画	増減方向		達成率の算式		目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	目標値に到達していないが、規範意識を高める指導の在り方などについての市町村教育委員会や学校に対する指導助言、定期的なアンケート調査の実施、教育相談体制の充実の取組を進めるなどの結果、基準年度と比較するとわずかではあるが向上している。
		北海道総合計画 北海道教育推進計画		増加	$\frac{(\text{実績値})}{(\text{目標値})} \times 100$							

主	主要指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	D	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか
		基準年度	H26	年 度	H28	最終年度	H29					
いじめに対する意識(中学校)		基準年度	H26	年 度	H28	最終年度	H29	達成度合	D	評価年度	H27	達成度合の分析 ほか
		基準値	70.7	目標値	100	最終目標値	100	年度				
〔指標の説明〕 全国学力学習状況調査において「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」について、「当てはまる」と回答した児童・生徒の割合	根拠計画	増減方向		達成率の算式		目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	目標値に到達していないが、規範意識を高める指導の在り方などについての市町村教育委員会や学校に対する指導助言、定期的なアンケート調査の実施、教育相談体制の充実の取組を進めるなどの結果、基準年度と比較するとわずかではあるが向上している。
		北海道総合計画 北海道教育推進計画		増加	$\frac{(\text{実績値})}{(\text{目標値})} \times 100$							

主	関連指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	B	評価年度	H26	達成度合の分析 ほか
		基準年度	H23	年 度	H28	最終年度	H29					
アイヌの人たちに関し資料等を活用して調べ学習をしている学校の割合(小学校)		基準年度	H23	年 度	H28	最終年度	H29	達成度合	B	評価年度	H26	達成度合の分析 ほか
		基準値	98.7	目標値	100	最終目標値	100	年度				
〔指標の説明〕 アイヌの人たちの歴史・文化等に関する学習において資料等を活用して調べ学習をしている学校の割合	根拠計画	増減方向		達成率の算式		目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	ふるさと教育・観光教育等推進事業における実践校の取組の普及や、総合的な学習の時間における単元指導計画例を示した「北海道ふるさと教育指導プログラム」の配付等を継続して行ったことにより、目標値に概ね到達している。
		北海道教育推進計画		増加	$\frac{(\text{実績値})}{(\text{目標値})} \times 100$							

主	関連指標名(単位)	目標の基準		今年度の目標		最終目標		達成度合	B	評価年度	H26	達成度合の分析 ほか
		基準年度	H23	年 度	H28	最終年度	H29					
アイヌの人たちに関し資料等を活用して調べ学習をしている学校の割合(中学校)		基準年度	H23	年 度	H28	最終年度	H29	達成度合	B	評価年度	H26	達成度合の分析 ほか
		基準値	96.7	目標値	100	最終目標値	100	年度				
〔指標の説明〕 アイヌの人たちの歴史・文化等に関する学習において資料等を活用して調べ学習をしている学校の割合	根拠計画	増減方向		達成率の算式		目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	ふるさと教育・観光教育等推進事業における実践校の取組の普及や、総合的な学習の時間における単元指導計画例を示した「北海道ふるさと教育指導プログラム」の配付等を継続して行ったことにより、目標値に概ね到達している。
		北海道教育推進計画		増加	$\frac{(\text{実績値})}{(\text{目標値})} \times 100$							

本施策に成果指標を設定できない理由	判定	A	B	C	D	-	結果	
	(直近の達成率(%))	100以上	90以上100未満	80以上90未満	80未満	算定不可		課題あり
	主要指標			1	1			
関連指標		2						





5 一次評価結果

	評価判定	成果指標の全体分析	施策全体に係る分析 (具体的成果・連携状況)	判定
主要指標	課題あり	<p>&lt;いじめに対する意識(小学校)[C]、(中学校)[D]&gt;                      ・目標に達成していないが、規範意識を高める指導の在り方などについての市町村教育委員会や学校に対する指導助言、定期的なアンケート調査の実施、スクールカウンセラーの配置、スクールソーシャルワーカーの派遣や子ども相談支援センターの設置等による教育相談体制の充実の取組を進めるなどした結果、いじめがいけないことだという意識が高まりつつある。</p>	<p>&lt;施策全体に対して、漏れなく有効な取組がなされているか&gt;                      ・道徳教育、人権教育の充実、アイヌの人たちの歴史や文化等についての理解を深める学習の充実については、効果的な取組を推進していることが認められる。                      ・教育相談体制の充実、児童生徒のコミュニケーション能力の向上や、いじめの問題を主体的に考える取組などのいじめの未然防止や早期発見、早期解決を図る取組を推進していると認められる。</p> <p>&lt;施策を推進するに当たり、国等に要望・提案を行い、実現に向けて進捗しているか&gt;                      ・スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置に係る支援に関すること、青少年のインターネット利用に関して、国に対し必要な要望を実施している。</p>	+ 評価
関連指標	-	<p>&lt;アイヌの人たちに関し資料等を活用して調べ学習をしている学校の割合(小学校・中学校)[B]&gt;                      ・ふるさと教育・観光教育等推進事業における実践校の取組の普及や、総合的な学習の時間における単元指導計画例を示した「北海道ふるさと教育指導プログラム」の配付等を継続して行ったことにより、目標値に概ね到達している。</p>	<p>&lt;道民からのニーズを的確に把握し、施策推進に役立てているか&gt;                      ・ネットトラブルの未然防止啓発資料について、有識者からの意見を踏まえ、児童生徒の発達段階に応じた内容に改善を図っており、施策の改善に役立てていると認められている。</p> <p>&lt;施策を推進するに当たり、他の施策、部局と連携した成果を確認できるか&gt;                      ・北海道いじめ問題対策連絡協議会を開催し関係機関等と情報共有しているとともに、いじめ根絶に向けたメッセージを知事部局と連携し広く発信していることから、関係部と連携した取組を推進していることが認められる。</p>	

総合評価	課題等はあるが引き続き推進	評価の概要	指標の一部は改善を要するものがあるが、施策全体に係る分析がプラス評価であることから、評価は「課題等はあるが引き続き推進」とする。
------	---------------	-------	--

次年度に向けての課題と今後の方向性 (対応方針)			(関連する計画等)		
方針	課題	方向性	総合戦略	強靱化	ビジョン
	いじめや不登校等は、学校だけでは解決できない場合もあることから、社会全体での未然防止や早期解決に向けた環境整備が必要であるため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置、有識者や弁護士などで構成する支援チームの学校への派遣や、子ども相談支援センターにおける解決支援につなげる支援などによる家庭・地域社会・関係機関と連携した生徒指導・教育相談体制の充実に取り組む。		A1421	-	C6901、C06902
	いじめ等の未然防止に向けては、児童生徒が自らいじめ等の問題について学び、主体的に考えたり、コミュニケーション能力の向上を図る取組が必要であるため、自己肯定感やコミュニケーションスキルを高めるなどの指導プログラムの調査研究及び普及啓発、児童生徒自身がいじめ等の問題行動について考える機会の充実に取り組む。		-	-	-

施策名	豊かな人間性と社会性を育む教育の推進	施策コード	11	09
-----	--------------------	-------	----	----

Check 施策評価

6 二次評価結果（知事による評価）

改善意見	【施策目標の達成状況(目標達成に向けてさらなる取組が必要)】 目標達成に遅れが見られる「いじめに対する意識」の向上に向け、関係部局・機関の連携により児童生徒自らがいじめの問題について学び、主体的に考える機会の充実など、より実効性の高い取組について検討すること。
------	---



平成28年度 基本評価調書

施策名	豊かな人間性と社会性を育む教育の推進	施策コード	11	09
-----	--------------------	-------	----	----

Check 事務事業評価 Action

7 二次評価結果（知事による評価）

整理番号	事務事業名	一次評価（平成29年度の方向性）（再掲）							二次政策評価		主な対応	
		重点点検事項			必要な見直し	予算	サービス	方向性	方向性	二次政策評価意見	方向性	H28二次評価意見への対応
		連携事業（整理番号）	終期なし	推進事項								
11052900	児童生徒校外体験学習推進費					継続（現状維持）	継続（現状維持）	現状維持	現状維持		現状維持	
11061200	道徳教育総合支援事業					継続（現状維持）	継続（現状維持）	現状維持	現状維持		現状維持	
11090200	不登校児童生徒指導対策事業費					継続（縮小）	継続（現状維持）	縮小	縮小		現状維持	
11090300	いじめ等対策総合推進事業費					継続（縮小）	継続（現状維持）	縮小	縮小		拡充	
11090400	子どもの人間関係づくり推進費					継続（現状維持）	継続（現状維持）	見直し検討（指標関連）	見直し検討		拡充	
11090600	被災児童生徒の心のケア対策費					継続（現状維持）	継続（現状維持）	現状維持	現状維持		現状維持	
11090700	道立高校スクールカウンセラー					継続（現状維持）	継続（現状維持）	現状維持	現状維持		現状維持	
11090800	いじめ等対策総合推進事業費（いじめ未然防止プログラム事業）					終了	終了	終了	終了		終了	
11090900	いじめ問題審議会（審議会経費）					継続（現状維持）	継続（現状維持）	現状維持	現状維持		現状維持	
11091000	子ども相談支援センター事業費					継続（現状維持）	継続（現状維持）	現状維持	現状維持		現状維持	
11101099	北海道心の教育推進会議に関すること					-	継続（現状維持）	現状維持	現状維持		現状維持	
11101600	青少年の体験活動推進事業費					継続（縮小）	継続（現状維持）	縮小	縮小		縮小	
11102500	社会教育振興費（学校司書配置促進事業）					継続（縮小）	継続（現状維持）	縮小	縮小		縮小	

施策名	豊かな人間性と社会性を育む教育の推進	施策コード	11	09
-----	--------------------	-------	----	----

Action 施策・事務事業評価

8 施策評価結果の反映（各部署等が実施）

（1）一次評価結果への主な対応

対応方針	主 な 対 応
	<新たな取組等> スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置の拡充、有識者や弁護士などで構成する支援チームの学校への派遣の促進、子ども相談支援センターにおける相談事案に応じた情報提供などによる、家庭や地域社会、関係機関と連携した、生徒指導・教育相談体制の充実を図る。
	<新たな取組等> 二次評価結果への主な対応と同じ

（2）二次評価結果への主な対応

意見区分	主 な 対 応	意見区分	主 な 対 応
【施策目標の達成状況(目標達成に向けさらなる取組が必要)】	「児童生徒仲良しコミュニケーション活動奨励事業」において、児童会や生徒会が主体となったいじめのない学校づくりを推進するとともに、「どさんこ子ども全道サミット」や「地区会議」を活用し、児童生徒自らがいじめの問題を主体的に学ぶ機会を確保し、意識の向上を図る。	左左左	

平成28年度 基本評価調書

施策名	豊かな人間性と社会性を育む教育の推進	施策コード	11	09
-----	--------------------	-------	----	----

Action 施策・事務事業評価

9 事務事業評価結果（方向性）への対応状況（各部局等が実施）

（1）事務事業評価で示した方向性への対応状況

区分 \ 方向性	見直し検討	拡 充	現状維持	縮 小	統 合	廃 止	終 了	合 計
評価結果	1 事業	事業	7 事業	4 事業	事業	事業	1 事業	13 事業
反映結果	事業	2 事業	8 事業	2 事業	事業	事業	1 事業	13 事業

（2）次年度新たに実施する事業

次年度新規事業(予定)
事業